

## 学校法人津田塾大学第1期中期計画

学校法人津田塾大学は、私立学校法第45条の2第2項の規定に基づき、以下の通り中期計画を作成する。なお本計画は、計画の進展、状況の変化等による必要に応じて変更することがある。

### I 中期計画期間

中期計画の期間は2020年4月1日から2024年3月31日までの4年間とする。

### II 基本目標

津田梅子の建学の精神に基づき、今日にいたる伝統を受け継ぎつつ2020年度に創設120周年を迎えるのを機に時代の進展に即して、「変革を担う女性」の育成を目指して教育、研究の一層の充実発展を図る。

### III 分野別計画

#### 1 教育に関する計画

- 1) 学年進行中の新設・再編の学部学科等を計画通り完成させる。  
2017年度設置の総合政策学部を2020年度に完成させる。  
2019年度設置再編の学芸学部多文化・国際協力学科、英語英文学科、デジタルメディア副専攻及び新教職課程を2022年度に完成させる。
- 2) 2017年度実施の認証評価の指摘に対応して、アドミッション・ポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを見直し、必要な改革を進める。  
全学共通教育のカリキュラムを構築する。  
学修成果の把握・評価に基づく学位授与システムを整備する。  
大学入学共通テストに対応して入試制度を改善する。
- 3) 2017年度実施の認証評価の指摘に対応して、大学院教育の整備・充実を進める。  
総合政策学部、多文化・国際協力学科における学修成果を発展させるための研究科・専攻を設置する。  
2017年度開始の文学研究科・英語英文学科の学士修士5年制プログラムを2021年度に完成させる。  
2019年度に開始した文学研究科英語教育研究コースのインターネット通学制度を完成・発展させる。

#### 2 学生支援に関する計画

- 1) 学外学修センター、ライティング・センターの組織・機能を強化し、学外学修の卒業単位化、ライティング支援の正課化を進める。

- 2) 低所得世帯の学生に対する国の支援に対応する授業料・減免等の措置を行うとともに、優秀な学生に対する各種奨学制度を見直し、適正化を進める。
- 3) 新設の学部・学科の卒業生、障害を持つ学生、留学生の進路支援を計画的に進め、津田塾大学キャリア・センターの組織運営体制を整備する。

### 3 研究に関する計画

- 1) 2018年度に採択された私立大学研究ブランディング事業を計画通り実施する。
- 2) 女性研究者支援センターの組織運営体制を整備し、支援事業の充実を進める。
- 3) 研究体制の整備充実を進める。
- 4) 研究業績システムの見直しと活用方法の検討を進める。
- 5) 研究成果の情報発信・アーカイブ化を強化する。
- 6) 公的研究資金の適正な管理を強化し、研究倫理研修を徹底する。

### 4 国際化に関する計画

- 1) 国際化を推進するカリキュラムを構築し、留学生の受け入れを拡充する。
- 2) 協定校との関係を強化するとともに、新規協定校の開拓を進める。
- 3) 国際センターの組織運営体制を整備する。

### 5 社会貢献に関する計画

- 1) 生涯教育組織（津田梅子記念交流館、津田塾大学オープンユニバーシティ）を整理統合し、体制を強化する。
- 2) 生涯教育事業の再構築を行い、企業、他機関との連携を含め採算性を確保できる生涯教育事業モデルの実現を図る。

### 6 施設・設備整備に関する計画

- 1) 小平キャンパス整備マスタープランを策定し、同プランに基づき、新館、図書館等の建て替え、寮の新築、改修を行う。
- 2) 既存建物の修繕計画を策定し、計画的に修繕を実施する。
- 3) 中長期設備更新計画を策定し、設備更新を計画的に実施する。

### 7 資金に関する計画

- 1) 健全な財政状況を維持しつつ、施設・設備整備計画を着実に実施するよう、中長期の資金計画を立て資金を運用する。
- 2) 千駄ヶ谷キャンパス第一期計画を総括し、第二期計画を検討する。

### 8 業務運営体制の整備に関する計画

- 1) 私立大学ガバナンスコードを指針として、適切なガバナンスを行う。
- 2) キャリア開発を含み中長期的人事計画を策定実施する。
- 3) フレックスタイム、テレワークなどを導入し、長時間労働を是正する。
- 4) 総務・経理・教務の各課の業務の合理化、電子化を進めるとともに、千駄ヶ谷キャンパス事務室に一部の権限を委譲する。

## 9 広報に関する計画

- 1) 2020年の創設120周年を機に、大学ブランドを向上させ、学生募集、寄付金募集に寄与する広報活動を強化する。

## 10 120周年記念事業に関する計画

2020年の創設120周年を記念して「変革を担う女性」の育成をより強く、より深く、より確かなものに進めていくため、寄付金を募集し（目標5億円、期間2019年11月から2024年3月まで）、次の4つの記念事業を実施する。

- 女性のキャリア支援/インクルーシブ・リーダーシップ育成事業
- 理系教育(サイエンス・マインド)強化事業
- 国際化推進事業
- 「英語の津田」のさらなる強化事業

以上